

上智大学でまなぶ  
 グローバル・イシュー  
**“ 国際問題の最前線 ”**

アフリカに対するイメージは、野生動物、そして内戦、貧困、飢え、エイズ、少年兵などだけでしょうか。また、日本はアフリカの資源を必要としているだけで、アフリカから学ぶことは何もないのでしょうか？

経済的な豊かさの中で私たち日本人が失ってきたものは「原始力」、  
 厳しい環境の中でも生きてゆくことができる力です。

私は、長年にわたりNGOメンバーとしてアフリカで医療を続けています。  
 アフリカには、豊かな文化、貧しい中で強くたくましく生きている人々がいます。

遠いアフリカから学ぶことはたくさんあると思います。

第 1 回

# アフリカから学ぶ

2011. **11/3** 祝 日  
 thu. 

開催時間	11:30
	12:30

上智大学 四谷キャンパス 3号館 2階 221教室

最寄り駅 JR・地下鉄 四ッ谷駅より徒歩3分

参加対象者 高校生、上智大学・上智短期大学・上智社会福祉専門学校卒業生・子女、教職員・子女  
**※事前申込不要** 当日直接会場にいらしてください。



講師：徳永 瑞子

上智大学 総合人間科学部 看護学科 教授

1969年国立嬉野病院付属看護学校卒業。卒業後、国内の病院勤務を経てザイルでの医療活動に従事。1976年にはベルギーレオポルド王記念熱帯医学校を卒業し、エチオピア干ばつ被災民支援に従事。その後1991年にはNGOアフリカの会を設立、中央アフリカにて医療活動を開始。2005年にはフローレンス・ナイチンゲール記章を受賞。長崎大学、聖母大学を経て、2011年4月より上智大学総合人間科学部 看護学科教授に就任。



ご参加特典

当日講座にご参加くださった高校生の皆さんに、上智学院創立100周年事業として作成しました「救世鳥」(備蓄から2年後に、非常食として使用しなかった場合は義援物資として世界の飢餓地域、地震被害地域に輸送され、国際貢献となるパンの缶詰)をプレゼントします。

“Veritas”=真理(ラテン語)

校章に記された“LV”は、真理の光“Lux Veritatis”、たゆまぬ真理の探究を目指す上智大学の本質と理想を表しています。上智大学創立100周年・上智短期大学40周年・上智社会福祉専門学校50周年記念事業として、大学の面白さ、学びの楽しさを紹介する、高校生向け講座です。

学園祭  
 開催中

学園祭(ソフィア祭)も、同時に楽しめます。

当日はソフィア祭会期期間中(2011年11月1日(火)~11月3日(木・祝))です。ソフィア祭は、学生団体「ソフィア祭実行委員会」により企画、運営される学園祭で、毎年3万人を超える来場者が集まる学内最大のイベントの一つです。

今後のスケジュール

第2回 2011年11月19日(土)10:30~17:30  
 世界の中のアフリカ -国家建設の歩みと国際社会-

第3回 2011年12月~2012年1月  
 上智大学大阪サテライトキャンパスにて開講予定